

人間と思想

生命倫理学入門

《担当者名》准教授 / 磯部 太一 (心理科学部)

【概要】

生命倫理の概要を、講義形式だけではなく、映像資料などを参照しながら、グループワーク、発表などを実施し能動的に学ぶ。医療現場で問題となっている事例（患者・医療者関係、安楽死と治療停止など）だけではなく、脳科学や生命科学などの現在進行形の研究から起因する倫理的・社会的問題や、社会における医療の役割などを学際的な観点から幅広く取り扱う。

【学修目標】

生命倫理の基本的な概要や問題事例を理解し身につけ、概説できる。
脳科学や生命科学に関わる倫理的・社会的問題について考え、内容を理解し、概説できる。
生命倫理の概要について、自分の日常生活と関連付けながら学び、概説できる。
グループワークと発表などの参加型の学習を通じて、議論するコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養い、実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	授業全体の予定や進め方などの概要を説明できる。	磯部 太一
2 3 4	生命倫理の誕生と展開	生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	磯部 太一
5	医の倫理	医の倫理、新しい医療のモデルの歴史と意義を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	磯部 太一
6	「患者-医療者」関係	患者と医療者の関係の歴史と意義を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	磯部 太一
7	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの歴史と意義を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	磯部 太一
8	安楽死と治療停止	安楽死の歴史と概要、安楽死の問題点、安楽死を巡る日本の状況、安楽死と治療停止の関係を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	磯部 太一
9	脳死	脳死問題の背景と歴史、脳死の判定基準を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	磯部 太一
10	臓器移植	臓器移植の歴史と問題、臓器移植と法の関係を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	磯部 太一

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
11	グループワーク	「死の受容」をテーマにしたグループワークの内容を説明できる。【SGD/PBL】 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	礪部 太一
12	グループワークの発表	「死の受容」をテーマにしたグループワークの内容を説明できる。【SGD/PBL】 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	礪部 太一
13	期末レポートについて	期末レポートの書き方の概要を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	礪部 太一
14	医療の役割	健康と病気、医療の論理、医学の進歩と医学研究の関係を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラム B-1-1 1)～4)	礪部 太一
15	まとめ	授業全体のまとめの概要を説明できる。	礪部 太一

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

期末レポート(100%)

定期的に授業内で小レポートを提出してもらい、次回の授業において、提出されたレポートの中で参考となるレポート内容の紹介を行う(成績評価には含めない)。

【教科書】

玉井真理子・大谷いづみ編(2022)『はじめて出会う生命倫理』有斐閣
戸田山和久(2022)『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK出版

【参考書】

小林傳司(2007)『トランス・サイエンスの時代-科学技術と社会をつなぐ』NTT出版
神里 彩子・武藤 香織 編(2023)『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』東京大学出版会

【学修の準備】

- ・授業の前後において、教科書の該当箇所を一読する(80分)。
- ・授業内で出した課題について、次回の授業の際までに行なっておく(50分)。
- ・授業内で実施するグループワークと発表に積極的に参加する。一部、授業外で宿題として実施する(30分)。

【関連するモデル・コア・カリキュラム】

B-1-1 薬剤師に求められる倫理観とプロフェッショナリズム 1)～4)

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。